

# 会館だより



新年明けましておめでとございます。

今年も館生の皆様が、楽しく充実した会館生活を送ることができるよう、職員一同一生懸命努力して参りますので、本年も宜しくお願い致します。

昨年は新型コロナウイルスが「五類」に引き下げになり、以前の日常が戻った感がありましたね。海外からの旅行客も徐々に戻り特に観光・飲食関係では全国各地の賑わいぶりやニュースで紹介されていました。コロナインフルに感染し

た館生がいました。

私もマスク等感染対策を引き続き行うつもりです。また、嫌な出来事では「闇バイト強盗」「東京五輪汚職」「ピックモーターの保険金不正請求」「自民党派閥の政治資金パーティー問題」等残念ながらも金に絡む関連のニュースが多かったですね。

芸能界では「ジャニーズ事務所性加害」が大きな問題となりましたが、日本のマスメディアは今まで知っても知らぬふり状態から手のひら返りでジャニーズ事務所に対して厳しい対応、頑張っている所属タレントが可哀そうに思いました。

さてここらで明るい話題。日本中が大いに盛り上がったWBC！

日本が十四年振りの優勝！準決勝のメキシコ戦の逆転サヨナラ勝ち、アメリカとの決勝戦、

最終回ツアーアウトでのピッチャー大谷VS

スライダーで三振に打ち取った瞬間の大谷選手の雄叫びと、帽子を投げるあのシーンはめちゃくちゃカッコよかったですし、テレビで見ていた我々も大興奮でした。大谷選手こそNo.1エンターテインナーだと思えましたね。

そして冬にはドジャースとの大型契約。金額が凄すぎて驚きですが、金額以上に彼の素晴らしい人間性は日本人の誇りですね。全国の小学校にグローブをプレゼントし、『野球しようぜ！』の一言。大谷翔平を嫌いな人っているのかな？大谷選手の話でこの紙面もいっぱいになりそうです(笑)。

若い人の活躍と言えは将棋界で藤井聡太竜王が史上初の八冠もすごいですね。彼の影響力も

No.82  
発行年月日  
2024年1月吉日  
北海道女子学生会館



会館では、会館ホームページやFacebookで、日常風景・会館イベント情報などを発信しております。是非、ご覧ください。

<http://www.hokkaido-nadeshiko.jp>  
〒060-0021  
札幌市中央区北21条西15丁目  
tel 011-736-8111



高く子供将棋人口が増えたことや全国各地で開催される対局での「勝負めしとおやつ」はすぐ話題になり小樽市で開催された竜王戦の後は、某食事・おやつは一部品切れ状態だったそうで、将棋ファン以外の人達にも影響を与えていますね。

大谷翔平・藤井聡太共に共通するのは、謙虚で努力を惜しまない事ですかね。小さい頃から目標意識をもって取り組んでいたようです。彼らより相当年配の私ですが、見習う事が多いです。今年も更なる活躍を願っています。

令和6年「辰年」、辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年だと言われています。また、たつ(竜・龍)は十二支の中で唯一空想上の生き物で、権力や隆盛の象徴であることから、出世や権力に大きく関わる年と言われています。年齢に関係なく我々も日々成長していきたいですね。

さて、今年も卒業等で退館する館生や、新たに入館する館生の受け入れが始まりだし、嬉しくもあり、寂しくもあつ時期を会館も迎えますが、特に今年新入館予定者や保護者様には、学校や会館 札幌での新生活に期待と不安が入り混じっている頃かと思いますが、我々職員一同入館生の皆様が充実した毎日を過ごせるよう一生懸命サポート致しますのでどうぞ、安心して会館に飛び込んで来て下さい。

令和六年一月  
館長 石田 信一  
職員一同



# わたしの会館生活

## 充実した会館生活

武蔵女子短期大学

一年 神谷 沙和



私は短大進学を機にこの北海道女子学生会館へ入館しました。最初は知らない学生と同じ空間で過ごすことや、親元を離れて生活することに対する不安が大きくとも心配でした。実際に生活

してみるとスタッフの方が優しくて安心感があるし、廊下や食堂などで友達や先輩に会うこともあるので楽しんで毎日過ごすことができている。私はコンサフリークというよさこいのサークルに所属しているため、平日は練習で帰る時間が遅くなったり、土日は演舞依頼があつたりする日が多いです。そんな生活を送っている中で私が感じた会館の良さを紹介したいと思います。

まず一つ目は立地の良さです。私が通っている武蔵女子短期大学までは徒歩十分ほどで行くことができます。そのため、朝の時間をゆとり過ごすことができたり空きコマに一度帰ることができたりとても便利です。また、近くにスーパーやコンビニがあることや乗り換え無しで札幌駅に行けるバス停がすぐ近いことも嬉しいポイントです。

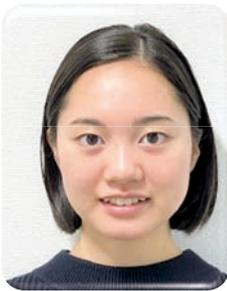
二つ目は美味しい食事です。平日や休日関係なく毎日食事を食べることができ、帰りが遅くなる日は食事をとっておいてもらえるのでとてもありがたいです。そして三つ目は会館のスタッフの方が優しいところ。二つ目は美味しい食事です。平日や休日関係なく毎日食事を食べることができ、帰りが遅くなる日は食事をとっておいてもらえるのでとてもありがたいです。そして三つ目は会館のスタッフの方が優しいところ。二つ目は美味しい食事です。平日や休日関係なく毎日食事を食べることができ、帰りが遅くなる日は食事をとっておいてもらえるのでとてもありがたいです。そして三つ目は会館のスタッフの方が優しいところ。



## 楽しい会館生活

北海道大学

一年 吉田 有季



私は大学進学を機に、北海道女子学生会館に入館しました。会館から大学までは歩いて二十分ほどです。会館生なら誰でも利用することができる会館バスがあるので雨が降っている時は、バスを

利用して通学しています。授業の時間に合わせてバスを利用することもできるため、とても便利です。私が会館に居て一番良かったと思うことは、学校から帰ってきた時に玄関が明るく、「おかえりなさい」と言ってくれるスタッフさんがいることです。特に冬期は帰りが暗くて寒いので、会館の明かりで心もホッとします。

会館には昼夜を問わず女性のスタッフさんがいて困った時はすぐに対応してくれます。また、深夜にスタッフの方が見回りをして下さるため、安全面もしっかり

利用して通学しています。他にエレベーターの定期点検、年に一度の避難訓練など日々の安心した生活を営む上での対策も行ってくれています。季節の行事に合わせ飾り付けをして下さる心遣いもあり、小さな楽しみが毎日の安全にもつながっています。会館に備わっている設備を自由に使えることも魅力のひとつです。各階には共同キッチンのほか電子レンジやトースターがあり、調理も簡単にできます。廊下やキッチン、トイレ、お風呂などの共同の設備はきれいに清掃して下さるため、快適に使うことが



できます。さらに会館にはピアノ室があり私はピアノを弾くことが好きなので自由に利用できるのはとてもありがたいです。実家を離れて半年以上が立ちました。今では会館の生活にも慣れて満たされた大学生活を送ることができています。今の生活は会館の方々のサポートのおかげであることを忘れず、日々の学びに邁進していきたいと思っています。

## 談話室リニューアル

会館の一階洗濯室前に談話室というお部屋があります。友達同士でおしゃべりしたり、洗濯の合間にちよつと本を読んだり、勉強したりと使用方法は様々ですが、そんな談話室も秋に壁紙や座るスペースのカーペットをリニューアルしました。他にも、玄関前や食堂へと続く廊下の壁紙など張替をしたので雰囲気もパツと明るくなりました。



# わたしのふるさと

## 私の故郷

新川高校  
一年 門脇 瑠奈



私は、石狩市の浜益というところで生まれました。札幌までは一時間半ほどで着きますが、交通手段がバスなので札幌に遊びに行く頻度はとても少なかったです。浜益には海や山、川などの

## 私の故郷

武蔵女子短期大学  
一年 沼田 夕瞳



私は伊達市から進学のために札幌市にきました。伊達市は室蘭市の隣で札幌から車で二時間ほどの場所にあります。「北の湘南」と言われるほど温暖な気候で洞爺湖や有珠山など自然が有名です。

自然がたくさんあり、食材もとても豊富です。

漁師の人は沿岸での漁業やホタテの養殖などをしていて、農家の人は牛を飼っていたり、お米や果物、野菜を栽培したりしています。地域の人の間ですれぞれ取れたものを交換することがよくあり、実家でもそれらが食卓に出てくるのが多々あります。

私の両親は漁師なのでよくお手伝いをしに港まで歩いて行っていました。魚を網から外したり捌いたりするのが楽しかったです。また、一緒に仕事をしてた人と休

憩時間に雑談をするのもとても楽しかったです。

私の中学校はとても小規模で、全校生徒が十数人で一人が平均、五人程でした。人数が少ないので一年生から三年生まで全員が交流でき、授業などでもわかるまで教えてくれるのでとても楽しい学校です。地域と協力して行う行事もあるのでより深く浜益について知ることが出来ます。

同級生はほとんどの子が保育園から一緒に毎日家族のように和気あいあいとしながら暮らしていました。私は、小規模のところから一クラス四

幼稚園や小中学校の頃は遠足や課外学習として洞爺湖や有珠山へいくことが多かったです。洞爺湖の周りを十五キロ歩いたり、有珠山に上ったり、大変だったけれど楽しかった思い出がたくさんあります。

地元の食べ物で私がおすすめしたいのは「牧家」と「黄金豚」です。

牧家はハンバーグで有名なびっくりにドランクのグループ企業で、主に乳製品の製造や販売を行っています。私が牧家で好きなものは二つあって、一つ目は飲むヨーグルトです。甘くて濃厚でとても美味しいです。プレーン味の他、もも味や冬みかん味

等もあり、小中学校の頃は年に一回ほど給食にすることもあり、おかわりのじゃんけんによく参加していました。二つ目は白くて丸いのが特徴のプリンです。爪楊枝で穴をあけて出し、カラメルソースをかけて食べるのが特徴です。

四個人で売っているの家族や友人と分けて食べることも出来ます。牧家はレストランもあり、チーズを使ったパスタやピザがおすすめです。

黄金豚は伊達市のオオヤミートというお肉屋さんブランド肉です。黄金豚のお肉は脂までとても美味しく私も家族もとても好きです。バーベキューをする時や

十人という想像のつかないスケールの大きさに最初は戸惑いましたが、だんだん好奇心に変わってきて毎日冒険しているようで今は楽しく日々を送っています。

部活と勉強の両立はとても難しいですが、地元で帰省することをモチベーションにして頑張っていきたいです。



しゃぶしゃぶ、すき焼き、ハンバーグなどの肉料理の時によく食べます。最近、黄金豚のお惣菜屋さんが出来たので地元に戻ったら行ってみたいです。

地元を離れたことで地元の魅力を改めて感じる事が出来ました。帰省を楽しむに札幌での学生生活を頑張っていきたいと思えます。

## 留学生が来ました

今年も昨年に引き続き、イギリスから留学生が来てくれました。

北海道芸術デザイン専門学校に通っているりんさんです。日本には九月の中頃から来ていました。日本語が上手なので来館して次の日にはごみの分別について質問されましたが、すんなり理解して頂きとても助かりました。

ただ、今年は猛暑で九月でも三十度近い日々が続きました。半袖で行動することが多かったです。とはいえ、さすが北海道。秋風が吹き始めると朝晩の気温差は激しくなり、季節感についてはりんさんも苦労されているようで、寒くてもTシャツを着れば汗だくなるほど気温が上がったりで、しばらく大変そうでした。

そんな中でも毎日会館の貸自転車に乗って、学校へ通っていました。日本が好きです。と言ってくれるりんさん。日本での勉強が将来に生かれますように。



## 周りの人たちに支えられて

私は、自分の将来の選択肢を広げるために、地元を離れ国際情報高校に通うことに決めました。

引越してきたばかりの頃は、わからないことだらけで不安な毎日でした。しかし、会館の人たちが優しく話しかけて下さったり、朝晩の美味しい食事から元気を貰ったりすることでそのような日々も乗り越え、今ではこの生活に慣れて楽しく過ごせるようになってきました。

札幌にきたばかりの時は、周りに知り合いが全くおらず、気軽に会話したり相談したりできる相手がいないので本当に寂しい気持ちになりましたが、だんだんと会館や学校で友達を作ることができました。朝の会館バスで友達と一緒に登校することも私にとって楽しみの一つです。

地元を離れて会館で暮らすようになってから、周りの人たちがいかに自分を支えてくれているか気が付きました。

ときどき、家族や地元の友達が恋しくてたまらなくなることもあります。ここでないと学べないことや味わえない体験がたくさんあるので札幌に来たことは後悔していません。

札幌での生活は刺激的で失敗したり不安を感じたりすることは今でもありますが、会館の方々や友達のおかげで日々楽しみながら生活できています。

これかからも周りの人たちに感謝の気持ちを持ちながら過ごしていきたいと思います。



札幌国際情報高校

一年 高瀬 瑛帆



## 札幌での高校生活

私は、将来就きたい職業があり高校では勉強を中心に頑張りたいと考え、札幌北高校に入学しました。

最初は、田舎から札幌へと環境が大きく変わり、家族と離れて一人で生活することに慣れないことも多かったです。大変なこともありましたが、会館の方の何気ない挨拶や家族と電話をしたり、新しくできた友達と遊んだり多くのことが支えになっていました。

今では勉強と部活でも忙しい日々を送っていますが、会館での生活はとても快適です。

特に勉強面では、自分の部屋で集中できない時に各階にある食堂サロンや一階の食堂を利用することができるので、とても助かっています。

また、部活面では陸上部に所属しほとんど毎日夜まで活動しています。時々、食堂の時間に間に合わないことがあります。電話で遅食連絡ができて、夕食をとっておいただけなので安心して部活に励むことができます。

私が親元を出て札幌に来て感じたことは自分を支えてくれる周りの方々の大切さです。

家族と一緒に生活していたときは当たり前のように洗濯や掃除、ごはん作りをしてもらっていましたが、今ではそれが本当に有難いことだと身をもって感じています。

毎日仕事をして家事もお金をかけて私を札幌に送り出してもらい応援してくれている母には特に感謝の気持ちでいっぱいです。

会館で生活をしていて新たに経験して学んだことがたくさんあるのでそれを忘れずに過ごしていきたいと思います。

そして忙しい時も多いですが、周りの人たちへの感謝を忘れずに部活も勉強も精一杯頑張って楽しい高校生活を送っていきたいです。



札幌北高校

一年 乾 悠里子



# HALLOWEEN

毎年恒例!

ハロウィンにはお菓子のプレゼント  
ささやかですが、  
館生が喜んでくれると嬉しいです



次回をお楽しみ!

★会館のHPとFacebookもご覧ください★「北海道女子学生会館」で検索!